

目標を目指して走る – プロセスに生きる信仰 ピリピ書3:12–16

香港JCF
2010年5月16日

前回の要約

1. キリストによる価値観の変革→「割礼」や「肉の頼み」(4節)からの解放(8節)
2. 信仰による義→キリストの救いを受け入れる信仰によって神様の祝福にあずかる(9節)
3. 死からの復活→十字架と復活のキリストと共に生きる: プロセスを大切にする信仰
(青虫→さなぎ→蝶) II コリント4:7–12節

9

10

I キリストに集中する(11, 2節)

1. 完全でない、完全を求める
2. キリストの愛に捕えられた者の歩み
3. キリストに捕えられた者の姿勢
 - ①後ろのものを忘れる
 - ②前のものに向かって体を伸ばす
→信仰義認の究極的な祝福→信仰の成長と成熟←キリストと共に生きるダイナミズム

11

II パウロの走るレース(14節)

1. 明確な目標を持った人生
2. キリストによる賞与(天←死と復活を経て)
3. キリストご自身が賞与(交わり: 一体)
→キリストが手段から目標へ
→キリストに捕えられて、もっとキリスト、
ついにキリスト

12

III 達し得たところに従って

1. 信仰の大人として考える(完全の意味)
2. お互いの信仰(達し得たところ)を確認する
3. 今、立っている所から前進する
→完全主義者ではないパウロ
→ありのままの聖書的な意味

13

み言の適用

1. 私の人生の目的は何だろう? 吟味しよう
2. 私の信仰生活は人生の目的と矛盾しないだろうか? なぜ矛盾するのだろうか?
3. 私は家庭や職場でキリストを主とする歩み(プロセス)をどのように具体化しているだろうか? パウロの例→使14:19–23節

14